

令和4年第4回(12月)大郷町議会定例会一般質問通告書

目 録

1. 石垣 正博 議員
 - 1) マイナンバーカード交付率向上に全力を
 - 2) 小・中学校におけるデジタル教科書について

2. 大友 三男 議員
 - 1) 不登校問題について
 - 2) 公社への貸付金(未収金)について

3. 吉田 耕大 議員
 - 1) 古民家の有効活用について
 - 2) 空き地・空き家バンクの有効活用について
 - 3) 地域おこし協力隊について

4. 高橋 重信 議員
 - 1) 復興まちづくり(中粕川地区・かわまちづくり事業)について
 - 2) けやき坂ガーデン団地の緊急避難路について

5. 千葉 勇治 議員
 - 1) 施政方針の主たる取り組みの進捗状況について
 - 2) 本町の定住化対策について
 - 3) 物価高騰による住民福祉対策について

6. 和賀 直義 議員
 - 1) コロナウイルス感染拡大防止対策を

7. 若生 寛 議員
 - 1) 急増するイノシシ対策は
 - 2) 7月豪雨の復旧状況は

通 告 要 旨	備 考
<p>1. マイナンバーカード交付率向上に全力を</p> <p>マイナンバーカードの交付率状況について、今年10月現在で50%を突破したと総務省で発表している。</p> <p>行政のデジタル化の鍵は、マイナンバーカードにあり役所にわざわざ行かなくとも、あらゆる手続きができる社会を実現するためのものだと言われている。カードの交付を2023年3月までに「ほぼ国民全員」の取得を目指すという国の考えのようだが、現在の本町における取り組み状況について伺う。</p> <p>(1) 本町の交付率は、5月1日現在で27.6%であったが現在のマイナンバーカード交付率の状況は、予定どおり進んでいるのか。</p> <p>(2) 本町において、現在のマイナンバーカード交付率から見て、国が示している来年3月までに「町民全員」のカード取得は可能なのか。</p>	<p>一問一答方式</p>
<p>2. 小・中学校におけるデジタル教科書について</p> <p>文部科学省では、パソコンやタブレット端末で使用するデジタル教科書について、2024年より小学5年生～中学3年生の英語で導入、25年度では算数・数学で導入する方向で検討することだが、本町の取り組み計画等について伺う。</p> <p>(1) デジタル教科書について、すでに文科省より本町に対しデジタル教科書についての通達があったことと思う。通達の内容等について伺う。</p> <p>(2) 昨年は、小・中学校の児童・生徒に対して、一人一台のタブレット端末が配布され、デジタル環境がスタートして1年数か月が経った。小・中学校において、端末使用による問題点などはなかったか伺う。</p>	

通 告 要 旨	備 考
<p>1. 不登校問題について</p> <p>(1) 令和4年5月9日の教育民生常任委員会所管事務調査の中で、令和3年度本町いじめ等の事案が、小学校で40件、中学校で1件との説明があったが、小学校、中学校不登校の現状(内容・件数)は、どのようになっているのか伺う。</p> <p>(2) 不登校に至る原因を、事案ごとにどのように分析し対応してきたのか、さらに義務教育である児童生徒の学習の場をどのように確保し、どのような形で学習させているのか伺う。</p> <p>(3) いじめ等によって不登校に陥る児童生徒がいまだにない。これまでの対応及び今後の対策について伺う。</p>	<p>一問一答方式</p>
<p>2. 公社への貸付金(未収金)について</p> <p>(1) 各種会計決算審査意見として、大郷町監査委員から複数年度にわたり、(株)おおさと地域振興公社の過年度返納金(平成19年度に計画された「大郷町農山漁村活性化プロジェクト支援交付金事業(ファームガーデン事業)」が平成22年度事業廃止により、おおさと地域振興公社に貸し付けた7,500万円)について、早期解消に努められたいとの意見がある。監査を受けた本町として、大郷町監査委員の意見についての考えを伺う。</p> <p>(2) (株)おおさと地域振興公社に7,500万円の公金を貸し付けることになったのは、田中町長の手がけた「ファームガーデン事業」の廃止により、事業補助金を国へ返還するものであり、田中町長の責任で7,500万円全額、一括返金させるべきと考えるが所見を伺う。</p> <p>(3) 過年度返納金7,500万円とは別に、(株)おおさと地域振興公社に対し約9,500万円の貸し付け、令和元年度の決算審査特別委員会の中で、令和元年度より年200万円の返済を誓約し返金しているとの説明であったが、現在600万円の返金を受けているが、貸し付けてから13年以上経過した現在、町としてなぜ早期の返金を求めなかったのか伺う。</p>	

通 告 要 旨	備 考
<p>1. 古民家の有効活用について</p> <p>以下について伺う。</p> <p>(1) 古民家再生計画では歴史民俗資料館など検討されているが、町としてどのような利用目的としているのか伺う。</p> <p>(2) 古民家などを低家賃で個人に貸し出しを行い、カフェや宿泊施設などとし、地域との共生や情報発信といったことを担ってもらうような施設にするような考えはあるのか伺う。</p>	<p>一問一答方式</p>
<p>2. 空き地・空き家バンクの有効活用について</p> <p>今後空き家などが増えることが見込まれているので空き地・空き家バンクを有効に活用してもらえる制度構築の考えについて以下について伺う。</p> <p>(1) 空き地・空き家バンク制度ができ数年経過したが、現在の実績と今後の課題解決の考えについて伺う。</p> <p>(2) 今後空き地・空き家対策など増えることが見込まれているが、どのように空き地・空き家対策、危険倒壊家屋対策をしていく考えか伺う。</p>	
<p>3. 地域おこし協力隊について</p> <p>地域おこし協力隊の活動は、受け入れ事業所にお任せしているような状態であり、隊員の目的である業種に就かれていると思うが、今後の受け入れ内容の拡充や目的を重視し、永続的に活動できるような支援など図られたいことから以下について伺う。</p> <p>(1) 受け入れ活動内容の拡充の考えについて伺う。</p> <p>(2) 本町では隊員2名がいる。今後の活動計画など事業所と町の連携について相談し、話し合いができてきているのか伺う。</p> <p>(3) 隊員（3年後）の支援について、どのように考えているのか所見を伺う。</p>	

通 告 要 旨	備 考
<p>1. 復興まちづくり（中粕川地区・かわまちづくり事業）について</p> <p>（1）進捗状況は何パーセントか。</p> <p>（2）今後の取り組みに関して、展開を伺う。</p>	<p>一問一答方式</p>
<p>2. けやき坂ガーデン団地の緊急避難路について</p> <p>令和元年の台風19号、令和4年7月15日から16日の集中的な大雨による県道利府松山線が二度も冠水し団地の町民の皆さんは仕事、子どもを送り迎えができず大変な思いをした。</p> <p>現在も緊急避難路がない状況に対する見解を伺う。</p>	

通 告 要 旨	備 考
<p>1. 施政方針の主たる取り組みの進捗状況について</p> <p>令和4年度の施政方針で町長は、わが町の難を乗り越えその先の新しい時代に適応した経済環境を通じて、「豊かで健康的な持続可能で生涯現役社会の実現を目指す」とともに、農村・農業の在り方を問題解決の基本政策として、高齢者雇用安定法を生かし、働く意欲のある高齢者が活躍できる町、農業はもとより町内職場環境の整備を求めていくということを施政方針の前段で強調されており意気込みが感じられる。今年度も第3四半期最後の月に至っている中で特に次の件の取り組み状況について伺う。</p> <p>(1) 働く意欲のある高齢者が活躍できる町づくりに「高齢者雇用安定法」を生かしていくとの約束だが、町内職場環境の整備も含めどの程度進んでいるのか伺う。</p> <p>(2) 「おおさともっと強さと活力を」の思いを込め、地産地消で地域活性化を強力に推進する手法の一つとして、「縁の郷・里山プロジェクト構想」の中で、里山の春夏秋冬の魅力を満喫できる環境整備を進め移住定住に発展させていくという方針の進捗状況について、「ラトリエ」のその後の経営内容も含め伺う。</p> <p>(3) 「かわまちづくり事業」の取り組み状況について伺う。</p>	<p>一問一答方式</p>
<p>2. 本町の定住化対策について</p> <p>総務産業常任委員会で、北海道の清水町と上士幌町に赴き、移住・定住対策や人口減少対策など、過疎対策全般にわたる取り組みについて、視察調査したところ、どの町でも人口減少に歯止めがかかり始めており、明るい兆しが見え始めており、今後大いに期待したいところである。その自治体の取り組みで特に2点について本町でも参考になるのではと考えられるので、提案しながら執行部の意見を伺う。</p> <p>(1) 清水町では、定住対策の一環として「奨学資金」を借り受け、学んだ若者について、学校卒業後5年間、地元で定住し、町内外に勤務した場合、奨学資金を免除する政策をとっており好評とのことだったが、仙台近郊にある本町でも十分に検討すべきと考えるが執行部の考えを伺う。</p> <p>(2) 上士幌町では、ふるさと納税者の多くが暮らしている東京・大阪</p>	

など遠くの地に定期的に赴き、上土幌町等について意見交換を行い、まちづくりに生かしているとのこと。また「ふるさと納税基金」を設け、使途目的を明らかにし、その後使用内容について納税者に伝え、信頼関係が構築されており、複数回の納税者も多数とのこと。これらの取り組みを参考に移住・定住対策を検討することも町の人口減少対策の一助になるのではと考えるが所見を伺う。

3. 物価高騰による住民福祉対策について

高齢者世帯や生活困窮者世帯に及ぼす燃料高騰は、この冬をどのように乗り越えるのか死活問題と考える。防寒対策として福祉灯油の支援を行い高齢者世帯や生活困窮者世帯が安心して正月を迎えられる対策を講じるべきと考えるが所見を伺う。

通 告 要 旨	備 考
<p>1. コロナウイルス感染拡大防止対策を</p> <p>感染症第8波の到来、季節性インフルエンザ（インフル）の流行も踏まえ、今こそみんなで力を合わせて、知恵を出し合い、見えないコロナを克服するときだ。その思いで以下伺う。</p> <p>(1) 直近の感染状況、ワクチンの接種状況は。</p> <p>(2) オミクロン株対応ワクチンの接種状況と促進のための対応、感染拡大防止対策は。</p> <p>(3) インフルのワクチンの補助拡充と、「新型コロナ抗原検査キット」を希望する人に配布できないか。</p>	<p>一問一答方式</p>

通 告 要 旨	備 考
<p>1. 急増するイノシシ対策は</p> <p>山沿いの農地でのイノシシ被害及び目撃情報が多くなっている。そこで次の点について伺う。</p> <p>(1) イノシシによる被害の状況は。また、目撃情報は。</p> <p>(2) 捕獲わな、おりの設置状況、および、成果は。</p> <p>(3) 町内での狩猟免許取得の状況は。また免許取得への支援の拡充を。</p>	<p>一問一答方式</p>
<p>2. 7月豪雨の復旧状況は</p> <p>7月 15・16 日豪雨から4か月が経過した。農地の収穫も進み復旧作業も本格化していると推測する。そこで次の点を伺う。</p> <p>(1) 農業施設、農地の復旧の進捗状況は。</p> <p>(2) 令和元年東日本台風被害と同じ場所の被害が多く、現状復旧ではなく改良復旧対応が必要と思うが、どのような対応となるのか。</p> <p>(3) 土地改良区関係は激甚災害指定とのことだそうだが、改良区以外の農地はどのような対応となるのか、不公平はないのか。</p>	